

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらくれ			
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日 ～ 令和6年12月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日 ～ 令和7年2月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	基本的生活習慣の獲得	五領域に特化した内容で支援目標・支援内容の設定を行い、小集団生活を通して身辺面・認知・行動・コミュニケーションなどの向上へと繋げる事ができる。幼稚園・保育園への移行にむけて、生活リズムの確立を図る事が出来る	小集団生活の中での経験に踏まえ、専門職の介入や情報交換を行い、個別支援の充実へと繋げていく
2	様々な公共機関・施設を利用し、生活体験の充実を図り、様々な経験へと繋げる	お買い物体験・JR乗車体験・市電貸切乗車・桜島フェリー乗車・警察署見学・アイス工場見学・ジョイフルにて食事体験など、様々な公共機関での経験が出来る	お子様が主体的に参加する事が出来るような体験、段階的にステップアップする出来るような体験を検討していく
3	家族支援の取り組み内容	年に2回の家族会・年に2回の定期的な面談・アセスメント・モニタリングを行い、個人指導計画の充実を図る事が出来る	・個別支援の充実を図る事が出来るような取り組み内容の計画 ・お子様一人一人の得意分野を広げられるような取り組み・ご家族も一緒に目標への相互理解を目指す

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動の様子を現在はブログにて発信・館内の掲示など行っていますが、様々なツール(インスタ・SNS)を活用していきたい	事業所での写真を欲しい、普段のお子様の様子を見てみたいとの意見も聞かれる中、館内での掲示も行っていますが、送迎利用の保護者様も回覧出来る機会を増やしていく	・個人情報の取扱いについて、検証 ・確認の上でSNSを活用した発信していく
2	家族支援(ペアレント・トレーニング等)の開催にあたり、周知と開催にあたっての計画が明確になっていない	・保護者様からのご希望の意見もある中、継続的な開催に至っていない ・開催時期・講師の年間調整が必要である	・開催時期・講師の日程調整を行いながら実施できる回数を増やしていく ・ペアレントを通して、家族支援の充実へと繋げていく
3	非常災害に対しての、マニュアル・災害後の連絡方法の周知	様々な災害に対しての、マニュアル・避難場所・周知方法においてご家族様への周知方法を再度見直し、災害時の考えられるリスクを軽減していく	・誰がみてもしわかりやすい確認方法の周知 ・契約にて丁寧な説明を行う事ができるような仕組み作りを行っていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 みらくれ

公表日 令和7年 2月 27日

利用児童数 25名

回収数 12名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制・ 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1			玩具スペースもあってよいと思います。	活動スペースは基準を満たしたスペースとなっており。必要に応じて、活動室の工夫に努めて参ります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11		1		通所人数に対して大丈夫だと思います。	職員配置は、配置基準を満たしております。必要に応じて、応援体制など職員配置の工夫に努めて参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、専機所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12				子どもが生活しやすいようになっている。段差等が無く良いと思う。	バリアフリー化と共に、視覚的にわかりやすい環境作りを行っております。お気づきの点がありましたらお知らせください。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	11	1			行く度にすごくきれいにしてあるなあと感心しています。ありがとうございます。	清潔な環境を作ることが出来るように日々の点検・清掃を行っております。お気づきの点がありましたら、お知らせください。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1			一人ひとりにあった支援を行っていていると思う。	お子様のニーズに合わせた支援内容を職員間で共有して参ります。また、療育研究会を実施し、職員のスキルアップに努めて参ります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11		1		子ども達に適した内容だと思う。	支援プログラムを元に提供する内容の見直し、実施内容を再度検証して参ります。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12				話をしっかりと聞いて作成されていると思う。	モニタリングを行い、保護者様・お子様のニーズを汲み取りながら計画を作成して参ります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12				項目ごとに作成されている。	児童発達支援ガイドラインに基づき、お子様にあった支援目標・支援内容を設定し、項目ごとに計画を作成して参ります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11		1		活動内容の中でされていると思う。	モニタリングを行い、保護者様・お子様のニーズにあった支援内容を提供する事が出来るように取り組んで参ります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12				月毎にしっかり違う活動内容になっていると思う。	継続的な取り組み・目標に対する取り組みを明確にし、プログラム内容がマンネリ化しないよう計画に努めて参ります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	1		3		今年度は実施に至っておりません。今後、取り組み出来る内容を検討して参ります。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12				契約時に説明がありました。	契約時に説明させていただいております。何かご質問な点・ご質問等がありましたらお知らせください。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12				面談等でありました。	誕生月・半月ごとにモニタリングを行っております。支援計画の見直しなど、ご相談がありましたらお知らせください。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12					年に2回家族会を実施しております。ペアレントトレーニングの開催など、今後検討して参ります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11	1			連絡帳には1日の活動で楽しかったことなど記載が多いですが、マイナス面等も教えて頂きたいです。帰ってきてからの子どもとの話や家でも気をつける事、注意すべき点につなげたいです。	ご意見いただきましてありがとうございます。日々の申し送り・連絡帳にて目標に対しての課題や取り組み状況などを含め、具体的にお伝えする事ができるように取り組んで参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1				必要に応じて、個別面談や相談内容の助言をさせて頂いております。必要の際はいつでもお声がけください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12				支援があると思います。	事業所内でお子様の目標・様子・保護者様からのご意見を共有し、支援に活かす事が出来るように努めて参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	11	1				定期的な親子療育・年に2回の家族会を実施しております。次年度、療育参観・懇親会など、交流できる場を検討して参ります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1			ご相談につきましては、定期的な面談を実施させて頂いております。ご希望がございましたら、いつでも職員にお申し出ください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1		月間予定表、療育予定表に記載されていることが違うことがあります。時間が違ったり日にちが違ったり、一方にしか記載がなかったり。送迎の有無も分かりづらいです。行事等で違うとは思いますが、その都度送迎の有無については知らせて頂きたいです。	ご意見いただきましてありがとうございます。月間予定表・療育予定表の記載の相違がないように努めて参ります。行事等の詳細につきましても、的確な情報をお知らせする事ができるように努めて参ります。お気づきの点がありましたらお知らせください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11		1		急ぎの共有に関しては、「さくら連絡網」にて共有させて頂いております。今後、SNSの活用方法も検討して参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	1	1	1	個人情報の取り扱いに関しては、鍵付きの保管し、全職員十分に注意しております。個人情報の取り扱いについては今後も徹底して参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1			毎年、マニュアルの見直し、必要に応じて見直しを行っております。各療育室に掲示しておりますのでご確認ください
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12				月に1回は行事予定内で訓練がされています。火事・地震・風水害・不審者等、以外にも、様々な災害を想定した訓練内容を検討して参ります。また、実施曜日に關しましても、見直しを図って参ります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1			安全計画に沿って職員会議にて研修を行っております。今後も安全確保に努めて参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1			連絡を頂けないこともありますが、充分な説明や、その後ちゃんと対応して頂けているので良いと思いますが、たまに不安になることもあります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12				バスに乗るのが楽しみで、安心感があると思います。何より子どもが先生を大好きと言って涙山話もしてくれるので安心に繋がっています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12				毎日楽しみにしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1			とても満足しています。療育中の写真（様子）を見たいなあという思いがあります。予定表とかで使われている写真で可愛いと思う写真が沢山あるので欲しいです。出来れば普通紙にプリントした物ではなく、LINEとかで送って欲しい。相談なし、返信不要の写真共有するだけのグループラインとかどうですか？親がいない所でわが子はどんな顔して過ごしているのだろう？って知りたいです。幼稚園の様子等、知らなかった事も教えて頂きたいです。先生同士での情報共有もして頂き、ありがとうございます。おおむね満足しているが、豆等苦手な食材を促していたり、笑って話す内容ではないかなと思う場面もありました。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年2月27日				
みらくれ						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		基準を満たしたスペースとなっていますが、活動内容や必要に応じて遊戯室・療育室活用 の工夫を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である か。	○		基準を満たした人員配置となっております が、必要に応じて応援体制や専門職の配置を 行っております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている か。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化 や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		視覚的アプローチを用いて、お子様分かり やすい環境作りを行っております。	バリアフリー化を元に、危険な箇所はない か、安全確保を強化し、点検方法の見直しを 行っており参ります
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清潔で、快適に過ごすことが出来るような環 境作りを強化し、清掃・一日二回の消毒の実 施を行っております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認めら れる環境になっているか。	○		必要に応じて、落ち着ける環境、個別対応を 行っております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	○		毎月職員会議を実施し、改善事項の共有と見 直しを図り、全職員が周知する事が出来るよ うに努めております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様・事業所評価を実施し、事業所間で の共有、今後の業務改善へと活かす事が出来 るように取り組んでおります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に つなげているか。	○		事業所間での共有、今後の業務改善へと活か す事が出来るように取り組んでおります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	○		第三者評価を実施の実施予定となっております。 実施後に、内容を共有し、改善へと繋げて参 ります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月、療育研究会を実施、年に2回の職員研 修を実施し、職員のスキルアップに繋げる事 が出来るように取り組んでおります。	個々のスキルアップを目指し、様々な資格取 得を目指していく事が出来るように取り組ん でおります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、ホームページにて 公開を行っております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成 しているか。	○		保護者様とモニタリング・アセスメントを行 い、職員間で共有した上で保護者様と個別支 援計画会議にて作成を行っております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけ でなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最 善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・児童発達支援管理責任者だけではなく、職員 間で共有後、作成を行い、子どもの最善の利 益を考慮した検討を行っております。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われ ているか。	○		児童発達支援計画を職員間で共有し、計画に 沿った支援内容を提供する事ができるように、 取り組んでおります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマ ルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ガイドラインに基づいた内容で、五領域に特 化した内容でアセスメントを行っておりま す。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支 援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支 援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえな がら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具 体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインで示す支援内容から子どもの支 援に必要な項目を選択し、その上で、具体的 な支援内容を設定を行っております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		お子様のニーズに合わせた内容、継続した取 り組み、新しい取り組みなど、意見交換しな がら計画を立てております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		プログラムが偏らないよう、立案者の担当を 決め、前月の内容と見比べながら取り組ん でおります。	生活体験の内容など、お子様の興味・関心を 組み込むことが出来るよう、情報の収集を行 なっております

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		職員間で共有を行いながら、必要に応じて個別対応など臨機応変に対応する事が出来るように努めています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		療育開始時・終了時を活用し、様々なツールで、職員間の情報のもれが無いように努めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		療育開始時・終了時を活用し、様々なツールで、次に活かす事が出来るように、またタイムリーな情報共有に努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		業務日誌を記載し、人数・活動内容・所感を記録し、次の活動へと繋げる事が出来るように取り組んでいます。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一回のモニタリングの実施を行い、必要に応じて目標・支援内容の見直しができるように取り組んでいます。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者を含め、担当職員が参加する事が出来るようにしております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		南部地区連絡を開催し、関係機関との密な情報の共有が出来る場を設定しております。	開催時期・日程の計画を早めにて、たくさん関係機関・事業所の参加が出来るような計画を立てて参ります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		年に2回、関係事業所と情報交換の実施を行っています。訪問や来館を通して、情報の共有を行い、支援内容の相互理解ができるように努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて、就学先への訪問・状況の共有を行い、支援内容の相互理解ができるように努めています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		年に3回、南部地区連絡会を開催しております。審議事項の協議、公開療育の意見交換などを行い、質の向上へと繋げられるような取り組みを行っています。	開催内容の構築・スキルアップに繋がる研修企画内容の立案など、今後内容の検討を図って参ります。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	○		専門講師・専門機関との密な連携を図り、内容を職員間で共有し、日々の支援へ活かす事が出来るように取り組んでいます。外部研修への参加も行って参ります。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		こども部会には、法人の代表が参加しており、必要内容の共有を図っております。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		現在、実施には至っておりません。今後、実施内容を検討して、参ります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳・申し送り・お電話などを活用し、お子様の状況や課題内容について共通理解が出来るように取り組んでいます。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			保護者様のご希望に添える企画内容・開催回数・開催時期の見直しを図る事ができるように計画を立てて参ります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行い、必要項目についての確認・同意をいただいております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントや聞き取りを通して、お子様や保護者様の意思の尊重・意向を確認し、計画を作成する事が出来るように努めています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援会議を行い、保護者等への説明・同意を頂く事が出来るように努めています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な面談の実施以外にも、子育てに対する相談等がないか確認を行い、必要に応じて面談と助言を行う事が出来るように取り組んでいます。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			年に2回、家族会の開催を行っております。今後も、保護者同士が交流できる場・懇親会等の企画を検討して参ります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談があった際には、職員間で共有し、準則に対応する事が出来るように取り組んでおります。また、必要に応じて、専門講師・機関へと繋げられるようにしております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページでブログの活用、行事予定表の配布を行っております。	今後、SNSを活用した、情報提供の検討を行って参ります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は鍵付きに保管し、取り扱いには十分な配慮を行っております。写真の掲示等、保護者様のご意向の確認を取らせていただいております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的アプローチを用いて、お子様にわかりやすい方法と取り入れております。	イベント・活動内容等、保護者様に分かりやすい掲示方法の見直しを図って参ります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人として、サマーフェスタ・フリーマーケットなど、開催し、地域の皆様にもご参加していただいております。	事業所としての取り組み内容を、検討し実施へと繋げていく事が出来るように努めて参ります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		それぞれのマニュアルを作成し、全職員の共通理解が出来るように努めております。	マニュアルは整備されていますが、保護者様への周知方法の見直しを図り、今後発信方法の検討を行って参ります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPの作成を行っております。毎月の様々な非常災害の訓練の実施を行い、非常時の対策を共有しております。	保護者様への周知方法の見直しを図り、今後発信方法の検討を行って参ります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用申し込みに詳しく確認できる項目を記載し、職員間で共有を図っております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		事前に、アレルギー・未摂取の食材など確認させて頂き、書面にて栄養士との共有を図っております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、職員会議にて研修・訓練の実施を行い、共通理解に努めております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			安全計画の作成は行い、各療育室・館内での掲示は行っております。今後、周知方法の見直しを行って参ります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの職員間の共有・他事業所との内容の共有に取り組んでおります。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎月、虐待防止・身体拘束委員会の会議を実施し、職員間の情報の共有・対策に取り組んでおります。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			現在、対象のお子様がいらっしゃいません。必要な場合は、個人計画を作成、保護者様への説明・同意を得たうえで実施が出来るように努めます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらくれ(保育所等訪問支援)		
○保護者評価実施期間	令和6年12月 23日		令和7年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	2
○従業者評価実施期間	年 月 日		年 月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○訪問先施設評価実施期間	令和6年12月 23日		令和7年 1月 10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2 (回答数)	2
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から幼稚園・保育園との連携を図っている為、幼稚園保育園については保育所等訪問の受け入れ、日程調整がしやすい。	年に2回の情報交換を行い、併用先との情報交換で密な連携を図る事が出来るように努めている	保育所等訪問支援を継続して行えるように、実施計画を立てた上で、スケジュール調整を行う。
2	お子様の困り感に対し、職員の調整・必要教材の準備を行う事が出来ている。	お子様の困り感に関して、必要に応じて専門講師やお子様の関心のある教材を持って訪問を行うことで、様々な視点からの助言を行えるようにしている。	訪問者同士連携を密に図り、情報共有を行っていく。訪問者から事業所職員への共有を必ず行う。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的な訪問の調整を行う中で、スケジュール調整が難しい事もある	・園行事や日程調整の課題 ・訪問時の時間設定・情報交換を踏まえた時間の確保	・定期的な訪問を実施する事が出来るように、訪問時に次の日程を決める事が出来るように取り組んでいく ・訪問園の年間行事計画を元に、訪問計画を密にしていく
2	言語聴覚士等の訪問を計画する場合、法人内に専門職はいるが事業所専属ではない為、訪問するにあたり、調整が必要となる。	保育所等訪問支援を利用するご意向を把握し、必要な専門職との連携を密にとっておく。	早めに園・事業所・専門職のスケジュール調整を行い、スムーズな訪問へと繋げられるようにする。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 みらくれ（保育所等訪問支援）

公表日 令和7年 2月 27日

利用児童数

年 月 日

回収数 2

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整 備	1	訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	2					訪問の支援材料に関しましては、お子様の様子に合わせ、必要に応じて準備を行っております。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	2					面談室は個室にて行い、プライバシーの配慮し、情報交換を行っております。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	2					保護者様の意見を踏まえ、目的・実施内容の情報共有を行いながら実施しております。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	2					実施日・実施時間を含め保護者様と情報共有に努めて参ります。
適切な 支援の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	2					お子様に合わせた支援提供を行う事が出来るように努めて参ります。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					より専門的に支援を行う事が出来るように、職員の専門性・スキルアップに努めて参ります。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					モニタリング・アセスメントを行い、保護者様の情報を元に、個別支援計画の作成に努めて参ります。
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	2					訪問時の情報交換を元に、保護者様・併用先の移行を個別支援計画の作成に反映する事が出来るように努めて参ります。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					保育所等訪問支援ガイドラインを元に、支援内容の設定を行っております。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					訪問支援計画に沿った内容で実施を行い、必要に応じて見直しを行っております。
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	2					訪問先と密な連携を図り、園行事・他のお子様の支障とならないに取り組んでおります。
保護者 への説 明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					契約時に、説明をさせて頂いております。何かご質問がありましたらお知らせください。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					支援計画と報告書にて実施内容・併用先との情報交換内容の説明を行っております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2					年に2回の家族会を実施しております。ペアレント等の取り組みも今後、強化する事が出来るように努めて参ります。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていますか。	1	1			保育所等訪問1ヶ月でも早くと思いバタバタ面談等したのに中々実行されない。4月すぎに開始したのに1回のみ。月に1回は説明がほしい。	ご意見いただきましてありがとうございます。併用先との日程調整を行いながら、進めて参りましたが実施が遅くなってしまい申し訳ございませんでした。今後、定期的に実施する事ができるように努めて参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					年に2回の面談の実施しております。何かご相談等ございましたらいつでもお申し出ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					お子様の状況について、共通理解ができるよう努めて参ります。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					定期的な面談を設定しておりますが、随時面談の機会を設けますので、いつでもお声掛けください。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					お子様、ご家族の思いを汲み取り、必要な情報伝達ができるように努めて参ります。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	2					訪問先からの相談等へ迅速に対応して参ります。

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	2					訪問後は、担当の方と話し合いの場を設けさせていただき、情報交換を行っております。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	2					ご家族への共有は、タイムリーに、丁寧に行えるようにして参ります。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2					保育所等訪問に関する発信方法を、今後増やせるよう検討して参ります。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					今後も個人情報取り扱いに関しては十分留意して参ります。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	2					訪問先との連携を図り、緊急時の対応ができるように努めて参ります。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					安全計画に基づき、安全確保された支援を行って参ります。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	2					お子様にとって負担とならないよう配慮した訪問を行って参ります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	2					ご家族やご本人が安心して保育所等訪問支援をご利用頂けるよう、訪問先と連携を図り、よりよい支援に努めて参ります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和7年 2月27 日

みらくれ（保育所等訪問支援）

利用児童数

令和7年 1月28 日 回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1				訪問時に丁寧に話出来るよう努めます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1				必要事項を共有していけるようにして参ります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1				面談時の丁寧な回答に努めます。また、いつでもお問い合わせ頂ければと思います。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1				お子様の困りごとに合わせて支援実施に努めて参ります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	1				今後とも定期的に訪問させて頂き、お子様にとってよりよい支援を目指して参ります。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
月一回、訪問していただき、始めは漸進が起きた時等の対応の仕方がどのようにすればよいのかと困っていたことも多かったですが、支援員の方のアドバイスをいただきながら少しずつ関わり方を変え、園生活の中でも落ち着いて過ごせるようになったかと思えます。また、園での様子、施設での様子を共有する事が出来ていたのも、普段見ることが出来ない様子も聞くことが出来な いかと感じています。毎月、忙しい中足を運んでいただき、様々な事を共有していただきありが うございました。					訪問の際には、同じ活動とならないように調整して下さったり、園外での様子の教諭をさせて いただけるように調整して下さりありがとうございました。お子様の普段とは違う様子を共有 する事で、ご家族が大変喜ばれているようでした。今後も、保育所等訪問支援を実施するにあ たり、専門職との連携を図るとともに、支援内容の丁寧な説明を行って参ります。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
みらくれ		令和7 年2月27日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・体制・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		訪問の支援材料に関しましては、お子様の様子に合わせ、必要に応じて準備を行っております。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準配置は見立っております。お子様の状況、課題等に応じてもう間職員の調整を図っております。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎月会議を実施し、改善項目の見直しを図り、全職員が周知できるように取り組んでおります。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様・事業所評価を実施し、事業所間での共有、今後の改善へといかす事が出来るように取り組んでおります。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事業所間での共有、今後の業務改善へと活かす事が出来るように取り組んでおります。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後、検討して参ります。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		実施しております。研修を通して、職員のスキルアップへと繋げて参ります。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		保護者様とアセスメント・、モニタリングを行い、職員間で共有した上で保護者様と個別支援会議にて作成を行っております。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理者だけでなく、職員間で共有後、作成を行い、子どもの最善の利益を考慮した検討を行っております。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		保護者様とアセスメント・モニタリング後に、訪問先の担当者との情報共有を行い、目標・支援内容に組み込む事が出来るようにしております。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援計画を職員間で共有し、計画に沿った支援内容を提供する事ができるように取り組んでおります。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ガイドラインに基づいた内容で、五領域に特化した内容でアセスメントを行っております。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインで示す支援内容から子どもの支援に必要な項目を選択し、その上で具体的な支援内容の設定を行っております。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援計画を職員間で共有し、計画に沿った支援内容を提供する事ができるように取り組んでおります。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始時・終了時を活用し、様々なツールで職員間の情報のもれがないように努めております。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援開始時・終了時を活用し、様々なツールで職員間の情報のもれがないように、またタイムリーな徐由豊共有に努めています。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先と密な連携を図り、園行事・他のお子様の支障とならないに取り組んでおります。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		報告書を作成し、訪問先・時間・活動内容・所感を記録し、次の活動へと繋げる事が出来るように取り組んでおります。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一回のモニタリングの実施を行い、必要に応じて目標・支援内容の見直しができるように取り組んでおります。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者を含め、担当職員が参加する事が出来るようにしております。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		南部地区連絡を開催し、関係機関との密な情報の共有が出来る場を設定しております。	開催時期・日程の計画を早めにて、たくさん関係機関・事業所の参加が出来るような計画を立てて参ります。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて、就学先への訪問・状況の共有を行い、支援内容の相互理解ができるように努めています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		専門講師・専門機関との密な連携を図り、内容を職員間で共有し、日々の支援へ活かす事が出来るように取り組んでおります。外部研修への参加も行っております。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		子ども部会には、法人の代表が参加しており、必要内容の共有を図っております。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		面談時・お電話などを活用し、お子様の状況や課題内容について共通理解が出来るように取り組んでおります。	
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			保護者様のご希望に添える企画内容・開催回数・開催時期の見直しを図る事ができるように計画を立てて参ります。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行い、必要項目についての確認・同意をいただいております。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		訪問時に、支援の趣旨やお子様や保護者様の意思の尊重・意向を確認し、お伝えできるように取り組んでおります。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントや聞き取りを通して、お子様や保護者様の意思の尊重・意向を確認し、計画を作成する事ができるように努めております。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援会議を行い、保護者等への説明・同意を頂く事が出来るように努めております。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な面談の実施以外にも、子育てに対する相談等がないか確認を行い、必要に応じて面談と助言を行う事が出来るように取り組んでおります。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			年に2回、家族会の開催を行っております。今後も、保護者同士が交流できる場・懇親会等の企画を検討して参ります。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談があった際には、職員間で共有し、準則に対応する事が出来るように取り組んでおります。また、必要に応じて、専門講師・機関へと繋げられるようにしております。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページでブログの活用、行事予定表の配布を行っております。	今後、SNSを活用した、情報提供の検討を行って参ります。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は鍵付きに保管し、取り扱いには十分な配慮を行っております。写真の掲示等、保護者様のご意向の確認を取らせていただいております。	
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的アプローチを用いて、お子様にわかりやすい方法と取り入れております。	イベント・活動内容等、保護者様に分かりやすい掲示方法の見直しを図って参ります。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問先での困り感などを共有し、必要に応じて助言・対応策と一緒に検討し支援へと繋ぐ事が出来るように取り組んでおります。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問時には、必ずカンファレンスを行い、課題・今後の取り組みなど情報の共有を行っております。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		実施後に報告書を作成し、園での様子・担当の方との情報共有内容をタイムリーに共有が出来るように努めております。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は鍵付きに保管し、取り扱いには十分な配慮を行っております。写真の掲示等、保護者様のご意向の確認を取らせていただいております。	

非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		お子様の目標・課題を共有し必要に応じて助言や、今後の対策と一緒に検討する事が出来るように努めています。	
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		それぞれのマニュアルを作成し、全職員の共通理解が出来るように努めております。	マニュアルは設備されていますが、保護者様への周知方法の見直しを図り、今後発信方法の検討を行って参ります。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、職員会議にて研修・訓練の実施行い、共通理解に努めております。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの職員間の共有・他事業所との内容の共有に取り組んでおります。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎月、虐待防止・身体拘束委員会の会議を実施し、職員間の情報の共有・対策に取り組んでおります。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			現在、対象のお子様がいらっしゃいません。必要な場合は、個人計画を作成、保護者様への説明・同意を得たうえで実施が出来るように努めます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業 ベベ		
○保護者評価実施期間	令和6年10月1日 ~ 令和6年11月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20 (回答者数)	10
○従業者評価実施期間	令和6年10月1日 ~ 令和6年10月20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活体験の充実、ダイナミックな活動内容の実施	・消防署、警察署見学、買い物体験、食事体験等、公共の場でのきまりやルールを身に付けることができ、様々な場所へ行くことで場慣れや、人とふれあう時間を大切にすることができる。 ・失敗を恐れず、やってみたいことに自ら進んで行い、何事にも意欲的に取り組む力を身に付けることができる。	・公共の場でのきまりやルール、人とたくさんふれあい、様々な知識を身に付け、スムーズな就学へと繋げる。 ・苦手なことにも少しずつ挑戦し、できることを更に増やし、苦手なことを克服できるような活動を企画する。
2	同年代の友達同士のかかわりを密に、交友関係を深める	ゲーム遊びや、制作等、友達同士で意見を出し合ったり、受け入れたりしながら交友関係を深め、集団で行動したり、考えたりする楽しさを味わうことができる。	異年齢とのかかわりを深めながら、集団で過ごす大切さや、思いやりの気持ちを持つことができるような取り組み(SST)の充実を図る。
3	関係機関(幼保、小学校)との連絡会を通して情報の共有ができる。	年に2回、併用している幼保との連絡会を実施し、情報交換を行い統一した支援を行うことで、お子様の成長へと繋げることができる。就学前に進学する小学校へ情報を共有し、途切れることのない支援へと繋げることができる。	就学児に関しては今までとは環境、リズムが大きく変わり、大きな不安を抱えるため、ご家族も一緒にお子様に寄り添い、相互理解を目指す。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	往復送迎のお子様が多いため、活動の様子(写真等)を伝えることが難しく、活動の様子の発信方法が限られている。	毎月の予定表に活動の様子の写真を記載しているが限られた枚数の為、ご家族に様子を伝えることができていない。	タイムリーに活動を共有することで保護者様への安心感へと繋げる。
2	家族支援(親子)の企画の強化策	往復送迎のお子様が多く、面談以外で直接話をする機会を設けることが難しく、ご家庭と療育での統一した支援が十分ではない。	・年間を通し開催時期を早めに伝え、参加へと繋げていく。 ・ペアレントを通して、家族支援の充実、親子療育の必要性を伝えていく。
3	災害時のご家族、園への連絡方法	災害が起きた際に、ご家族、園と双方の連絡が必要となるが、回線も込み合うことが予測されるため、スムーズな連絡方法が明確ではない。	各園との連絡手段を明確にし、マニュアルを作成する。スムーズに連絡することができるようにお子様の併用先、連絡先の一覧表を作成する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ベベ

公表日 令和7年2月27日

利用児童数 20名

回収数 10名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9			1	とても整えられていていいと思います。	⇒スペースは基準を満たしております。遊戯室や屋上遊歩場など、用途に分けて遊び場を設定しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9			1		⇒基準は満たしております。お子様の状況により職員配置を行っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8			2		⇒廊下に手すりを付け、段差のない部屋の作りになっており、車いす等もスムーズに運ぶことができるように配慮しております。何かご意見ございましたらいつでもお申し付けください。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	9			1		⇒日常の清掃、整理整頓に心がけておりますが、お気づきの点等ございましたらお申し付けください。活動スペースについても用具の配置等の工夫や、活動内容に応じて遊戯室を使用し、十分な広さが確保できるよう工夫をまいります。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9			1		⇒一人にひとりの特性を職員間で共有し、毎々に応じた支援を行っております。お子様の対応等、お困りのことがございましたらお申し付けください。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	1		2		⇒ガイドラインに基づいた項目に対する具体的な内容等をしっかりとお伝えさせて頂くよう努めて参ります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					⇒年に2回お子様の様子、保護者様と面談でお話させていただいております。保護者様のニーズや課題を盛り込み個別支援計画を作成しておりますが、ご不明な点や改善点がございましたらお申し付けください。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					⇒ガイドラインに基づいた項目に対する具体的な内容等をしっかりとお伝えさせて頂くよう努めて参ります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8			2		⇒お子様の成長過程に合わせ、定期的に児童発達支援計画の見直しを行っています。お子様の課題を活動内で楽しく取り組む中で自信に繋がっていくように支援を行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	1		1		⇒普段の活動でも臨機性や社会性を養えるよう、またお子様が興味、関心のある活動を取り入れ、マンネリ化しないように工夫しています。また、同じ曜日に活動が重ならないように気を付けて参ります。気になる活動等ありましたらお申し付けください。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9			1		⇒実施できる方法を検討して参ります。
保護者 への	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	1				⇒ペアレントプログラムを実施しております。是非ご参加下さい。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					⇒支援計画の項目1つ1つをお話させていただいております。ご不明な点がございましたらお申し付けください。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9			1		⇒日々の申し送り、年に2回の個別面談、その他必要に応じて随時お話を頂かせて頂きますので、お声がけ下さい。また、電話でも受け付けております。何かご意見ございましたらいつでもお申し出ください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	8		1	1		⇒日々の活動の様子等のお伝えと共に、その中で成長した部分や発達の課題を保護者様と共有し、今後の支援に活かして参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	1	1			⇒ご相談をいただいた際には、その都度連絡帳やお電話で、助言等させて頂いております。ご不明な点がございましたら対応させていただきますのでお申し出ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					⇒お子様の気持ちや状況を理解し、寄り添いながら支援を行うことを心がけております。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1		1		⇒懇親会等、実施させていただいております。沢山の方々にご参加して頂きたいと思っております。療育参観も今後、実施予定ですのでご案内いたします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9			1		⇒お子様のことで気になることがありましたら、面談や電話でも受け付けております。いつでもお声掛け下さい。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10					⇒日々の申し送り、連絡帳で毎日の様子等お伝えしております。その他必要に応じて電話でお伝えしております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	1	1		⇒安心して通園して頂けるように、活動内容をホームページ、行事予定表で紹介し、評価表の掲示等も積極的に行っており参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	1		2		⇒施設付きの朝に書類等保管し、取り扱い、保管には十分配慮しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			1		⇒毎月1回訓練を実施し、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を作成し、職員がすぐ確認することができるように保管しております。気になる事がございましたらいつでもお申し付けください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9			1		⇒毎月1回地震、火災を想定した避難訓練を行っています。避難の方法、経路等お子様と一緒に確認しながら行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8			2		⇒日々、設備等の点検を行いお子様が安全に過ごすことができるように十分配慮しております。また、活動内容もお子様安全に行うことができるように配慮しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1		2		⇒事故等が発生した場合のマニュアルを作成しており、速やかに対応できるようにしております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10					⇒お子様が安心感を持つことができるような環境作りを行っております。表情や様子を常に気にかかけ、いつもと違う場合は特に気にかけて対応し、保護者様にもお伝えさせていただいております。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	1			いつも行く前も行ってからも活動についてよく話してくれます。	⇒お子様お一人お一人が笑顔で過ごせるような場になるように今後も職員一同努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9			1		⇒お子様のニーズに応じた支援を行うことができるように職員間で話し合いの場を設け情報共有を行い、支援を行っております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ベベ		令和7年2月27日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・その日の人数や活動に応じて広いスペースを使用し、お子様がのびのびと過ごすことができるようにしています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・お子様の人数に合わせて、職員の人数を配置しています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・視覚的アプローチを用いて、お子様が分かりやすい環境作りを行っております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・お子様が楽しそう、やってみたいと思うような環境作りに努めます。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・お子様が落ち着かない場合は別室で対応し、気持ちが落ち着いて部屋に戻ることができるようにしています。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎月職員会議を実施し、改善事項の共有と見直しを図り、全職員が周知する事が出来るように努めております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者様からご意見をいただいた場合、職員間で話し合い、改善へ繋げて参ります。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・職員間で話し合いの場を設け、困り感や、お子様への対応など、共通理解をし改善へと繋げて参ります。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		第三者評価を実施の実施予定となっております。実施後に、内容を共有し、改善へと繋げて参ります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・研修での資料を配布し、全職員で情報を共有し資質向上に努めています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムを作成し、ホームページにて公開を行っております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・お子様一人一人の目標を明確にし、保護者様の思いを組み入れ、職員間で話し合い計画案作成を行っている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・児童発達管理責任者だけでなく、職員間で共有後、作成を行い、子どもの最善の利益を考慮した検討を行っております。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・毎月の会議で、計画を基に支援の見直しを行い、話し合いをしている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・ガイドラインに基づき、五領域に特化した内容でアセスメントを行っております。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・ガイドラインで示す支援内容から子どもの支援に必要な項目を選択し、その上で、具体的な支援内容の設定を行っております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・各職員の考えを組み込みながら活動プログラムを考えています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・各職員で活動内容の意見を出し合い、固定化しないように工夫しています。	

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・お子様一人一人の実態や、保護者様の思いを組み込み、計画案を作成しています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎日、職員間で情報共有を行っています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・毎日、気付いたこと、気になったこと等職員間で情報共有を行っています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		業務日誌を記載し、人数・活動内容・所感を記録し、次の活動へと繋げる事が出来るように取り組んでおります。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一回のモニタリングの実施を行い、必要に応じて目標・支援内容の見直しができるように取り組んでおります。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者を含め、担当職員が参加する事が出来るようにしております。	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		幼保小連絡会や、南部地区連絡会に参加し、関係機関との密な情報の共有が出来る場を設定しております。	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		年に2回、関係事業所と情報交換の実施を行っています。訪問や来館を通して、情報の共有を行い、支援内容の相互理解ができるように努めております。	
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて、就学先への訪問・状況の共有を行い、支援内容の相互理解ができるように努めています。	
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		法人内の児童発達支援センターと日頃から情報交換を行い、支援方法や事業所運営について助言をいただいています。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			現在、実施には至っておりません。今後、実施内容を検討して、参ります。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳・申し送り・お電話などを活用し、お子様の状況や課題内容について共通理解が出来るように取り組んでおります。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			保護者様のご希望に添える企画内容・開催回数・開催時期の見直しを図る事ができるように計画を立てて参ります。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行い、必要項目についての確認・同意をいただいております。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントや聞き取りを通して、お子様や保護者様の意思の尊重・意向を確認し、計画を作成する事ができるように努めております。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援会議を行い、保護者への説明・同意を頂く事が出来るように努めております。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な面談の実施以外にも、子育てに対する相談等がないか確認を行い、必要に応じて面談と助言を行う事が出来るように取り組んでおります。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			年に2回、家族会の開催を行っております。今後も、保護者同士が交流できる場・懇親会等の企画を検討して参ります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談があった際には、職員間で共有し、準則に対応する事が出来るように取り組んでおります。また、必要に応じて、専門講師・機関へと繋げられるようにしております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページでブログの活用、行事予定表の配布を行っております。	今後、SNSを活用した、情報提供の検討を行って参ります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・取り扱いには十分注意し、徹底しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的アプローチを用いて、お子様にわかりやすい方法と取り入れております。	イベント・活動内容等、保護者様に分かりやすい掲示方法の見直しを図って参ります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人として、サマーフェスタ・フリーマーケットなど、開催し、地域の皆様にもご参加していただいております。	事業所としての取り組み内容を、検討し実施へと繋げていく事が出来るように努めて参ります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		それぞれのマニュアルを作成し、全職員の共通理解が出来るように努めております。	マニュアルは設備されていますが、保護者様への周知方法の見直しを図り、今後発信方法の検討を行って参ります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPの作成を行っております。毎月の様々な非常災害の訓練の実施を行い、非常時の対策を共有しております。	保護者様への周知方法の見直しを図り、今後発信方法の検討を行って参ります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・状況を確認し、てんかん発作のお子様は必要があればダイアップをお預かりし、すぐ対応できるようにしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		事前に、アレルギー・未摂取の食材など確認させて頂き、書面にて栄養士との共有を図っております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、職員会議にて研修・訓練の実施を行い、共通理解に努めております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画の作成は行い、各療育室・館内での刑事は行っております。今後、周知方法の見直しを行って参ります。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・気付きを増やし、事故につながらないようにしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・月に1回会議を実施し、気になるお子様の様子や、発言等あった場合は情報を共有し、観察しております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		現在、対象のお子様がいっぱいません。必要な場合は、個人計画を作成、保護者様への説明・同意を得たうえで実施が出来るように努めます。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ペペ (未来)		
○保護者評価実施期間	令和7年1月4日 ~ 令和7年1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数) 28名
○従業者評価実施期間	令和7年1月27日 ~ 令和7年1月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容の充実 ・5領域に基づいた日常療育 ・土曜日、長期休暇等を利用した生活体験活動	活動プログラムが固定しないようバランスよく計画を立てることを心がけています。また、土曜日や長期休暇などの長い療育時間を利用して施設外活動を増やします。	保護者様、お子様からの活動リクエストを募り支援に反映する事でより充実した活動プログラムの実現を目指します。
2	小学1年生から高校3年生までを対象としており、異年齢同士の交流ができる	個別の活動だけでなく集団遊びも多く取り入れることで、人間関係の構築やコミュニケーション能力の向上へと繋げています。	事業所内のグループ活動に加え、他事業所との合同イベントを増やす事で、交流の場をさらに広げていくことを目指します。また、普段関わる事の少ない他事業所の子どもや職員との交流を通じて、様々な刺激を受けたり、異なる視点を学ぶ機会を提供していきます。
3	放課後等デイサービスを取り巻く様々なサービスとの連携ができる	法人内の児童発達支援や相談支援との連携、日中一時支援の活用により、スムーズに支援が進行できています。また、通所、就労支援事業所もある為、放課後等デイサービス終了後も組織的な支援を継続する事ができます。	保護者様のご要望や必要に応じて地域との連携を図っていますが、現状では法人内の事業所のみで支援が完結する事が多くなっています。外部の事業所や関係機関との連携をさらに強化し、より幅広い支援体制の構築を目指してまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職との連携に課題を感じる	専門職の支援を必要とする成人の利用者様が多い傾向にあり、十分な支援時間を確保できていない状況があります。	専門職員との連携を強化し、児童に対する支援の機会を増やしていきます。
2	地域の方や他の子どもと交流する機会を増やしたい	地域の事業所の管理者や通学先の先生とはやりとりができていますが、お子様同士と一緒に活動したり交流したりする機会が不足しています。合同イベントの案は出たことがあるが、実施にまでは至っておりません。	併用利用しているお子様が多い事業所との合同イベントを提案をしています。
3	家族、きょうだい同士が交流できる行事を増やしたい	療育時間帯にお仕事をされている保護者様が多く、参加しづらいのではと考えています。	お仕事をされている方でも参加しやすいよう、時間設定や活動場所を工夫していきます。また、親子行事のご案内を早めに行うことで予定の調整がしやすいよう配慮します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		放課後等デイサービス ペペ (未来)		公表日		令和7年2月27日					
				利用児童数		38名		回収数		28名	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	4			○遊び方、力加減など、施設の物を壊したり友だちにケガをさせたりしないかが心配。 ○もう少し広々とした運動スペースがあると嬉しい	◇活動や自由遊びの内容、その日の利用人数などに合わせて療育室と遊戯室を使い分けています。引き続き、皆様が安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。 ◇運動遊びの充実として、今後、戸外遊びの回数を増やしていきたいと考えています。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23	2		3	○職員の配置数を把握していない	◇基準を満たした職員配置数になっています。活動内容や子どもの状態に合わせて他事業所との連携を増やしてまいります。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	1				整理整頓、絵カードの活用など、様々なツールを用いた支援を心がけています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	1				活動終了後に必ず清掃をおこなっています。			
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	2				日々の情報共有、ケース会議等を通して支援の質の向上に努めています。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	2		1		当法人のホームページにて支援プログラムを公表しています。ご確認ください。			
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28								
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28								
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28								
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	1			○市電車体験など日頃なかなかできない活動をまたしてほしい	◇貴重なご意見ありがとうございます。当事業所ではリクエスト活動を随時受け付けております。皆様からの声を積極的に活動内容に取り入れていきたいと思っています。			
保護者	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	19	5	1	3		◇法人内の他事業所との交流は定期的に行っておりますが、外部のお子様と関わる機会はまだ十分に設けられていない状況です。今後は、そうした交流の場を少しずつ増やしていきたいと思っています。			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	1			○児発→放デイ移行時になかなか説明がなく不安に感じた。改善してほしい。	◇不安な気持ちにさせてしまい申し訳ありませんでした。今後の改善へと繋げてまいります。ご不明な点がございましたらいつでもご相談ください。			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	26	1		1		現在、未就学の保護者様を対象にペアレントトレーニングを実施しております。今後、ニーズに応じて対象を拡大していけたらと考えています。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	27			1	○申し送りの際に対面で細かく状況を伝えあう事ができている	◇保護者様のご要望に応じて個別面談や担当者会議等の開催も行いますので、ご希望の際は申し付けください。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27			1	○定期的に面談機会を設けてくださり、子どもの様子がよく分かる	◇保護者様のご要望に応じて個別面談や担当者会議等の開催も行いますので、ご希望の際は申し付けください。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27			1		◇お子様、保護者様からの声に寄り添った支援を心がけています。			

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	23	1	4		◇家族会(年2回)や運動会、発表会、その他季節行事など、定期的に親子活動を実施しています。今後は、これらの活動をさらに充実させると共に、新たな活動も企画していきたいながら、親子、保護者様同士のつながりを深められる場を提供して参ります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	1	1		◇いただいたご意見を職員間で共有し、迅速に対応できるよう努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27		1		◇意思の疎通や情報伝達をより円滑にするために、取り入れてほしい方法がございましたら、ぜひご意見をお聞かせください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	2	2	○廊下に写真が掲示してあり嬉しい ○掲示だけでなく、画像ファイルそのものをもらいたい(スマホを活用して)	◇貴重なご意見ありがとうございます。事業所の広報として、HP(ブログ)や各種SNSの活用を現在検討中です。詳細が決まり次第、改めてお知らせいたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26		2		◇重要事項説明書に個人情報の取り扱いについての記載があり、それらに沿った対応をしています。ご確認ください。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	2			それぞれのマニュアルを策定し、療育室に掲示しています。定期的に避難訓練、防犯訓練も実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28				
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	1	1		安全計画が策定されています。職員への周知も同時に行っています。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	3			怪我等や事故があった際はマニュアルに沿った対応と保護者様への丁寧な説明と謝罪を心がけています。ケガや事故の周知、慰労の元、再発防止に努めてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	27	1		○気持ちの良い通所しやすい子だが、先生や友だちと過ごす時は安心している ○子ども自身が職員の仕事に信頼している様子	◇ありがとうございます。これから一人一人に寄り添った支援に努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27		1	○「今日の活動は何か？」と楽しみにしている ○子どもは「通所が楽しい」と言っている。特に体を動かす事が好き ○毎回の活動を楽しみにしている ○「楽しい」「職員が優しい」といった感想をよく聞く ○子どもの希望を聞いてくれる	◇ありがとうございます。これから皆様のご期待に沿えるよう尽力いたします。また、当事業所ではリクエスト活動を随時募集しております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	1			お気づきの点やご意見等ございましたらいつでもお聞かせください。皆様の貴重なお声を大切にし、より良い支援へと繋げてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ペペ (未来)		公表日		令和7年2月27日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動や遊びに応じて療育室と遊戯室を使い分けています。	人数や身体の大きさに対して部屋が狭く感じることがある為、他の療育室の使用も積極的に進めています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			基準を満たした職員配置数になっています。ですが、活動内容やこどもの状態によっては、今以上の連携が必要とされる場面もあります。個々のスキルアップや他事業所との連携を図りながら、より良い支援を目指して参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		文字だけでなく、イラストや絵カード等の視覚教材を用いた支援を行なっています。手すりやスライドドアなど、建物のバリアフリー化もされています。	トイレの構造が未就学児仕様になっており、便器が小さかったり、プライバシーの配慮に欠けると感じる事もあるため、療育室から少し離れた所にある個室トイレの使用を促しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		療育終了後に必ず清掃をしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		その時の状況に合わせて複数の療育室を使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		月1回の職員会議にて実態の共有と改善に向けての取り組みについて話し合う事ができています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年1回の評価にいただいたご意見を事業所内で共有し業務改善に活かしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務改善に向けてのアンケート、個別面談などをおこなっています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、外部評価はおこなっておりません。今後、外部評価の導入を検討しています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月1回、療育研究会をおこなっています。外部研修も定期的に受講しています。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		作成した支援プログラムをホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		事業所職員全員でモニタリング、アセスメントを行い計画作成をしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画書の作成後、事業所の全職員で内容の確認をしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に沿った支援ができるよう、面談終了後の朝礼やケース会議で内容を共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		法人内で統一されたアセスメントツールを活用しています。お子様の状態に関しては、気付いた職員が逐一発信しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインに沿って計画作成をしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		事業所職員全員で活動プログラムを考えています。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動プログラムに偏りがなく、事業所職員全員で内容を確認しています。また、定期的に保護者様、お子様からのリクエスト活動を取り入れています。	これまでに取り組んだことのない活動を取り入れていきたい。今後もリクエスト活動を継続していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		こどもの性格や特性に応じた支援計画書を作成しています。個々の目標だけでなく、周囲とのつながりまで大切にしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			職員体制や受け入れ時間によっては十分な時間を確保できないことがありますが、活動前にか必ず役割分担を伝えています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			その日のうちに打合せが完了しないことがあります。重要事項に関しては、後日、必ず共有するようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		業務日誌を毎日作成している。また、連絡帳にその日の様子を細かく記載するようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		職員間で適度な情報共有ができています。また、必要に応じて支援計画書の修正もおこなっています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			地域交流の機会が少ないことに課題を感じています。土曜日、長期休暇を利用した活動を計画して参ります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			ひとつの活動に対して複数の課題を用意したり、自由遊びの選択肢を広げたりなど、お子様主体で取り組む事ができる配慮をしています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した書が参画しているか。	○		定期的に参加する事ができています。また、必要に応じて担当者会議開催の依頼もおこなっています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連絡を取り合っています。	連携の機会を増やしていきたいと考えています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		年2回の学校情報交換会や送迎の際など、こまめにやりとりができています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		法人内の事業所を利用していたお子様の情報共有ができています。	保育所や幼稚園、認定こども園などとの連携が少ないので、情報共有の場を設けより良い支援へと繋げて参ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		移行先や保護者様から依頼があった場合にみ情報提供をしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		法人内の児童発達支援センターと連携を図っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		公園遊びの際に近所のこどもたちと一緒に過ごすことがあります。また、法人内の他放課後等デイサービスとの交流活動をおこなっています。	地域交流の機会が少ないことに課題を感じています。土曜日、長期休暇を利用した活動を計画して参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		法人の代表が参加しています	事業所の職員も同席できるよう調整していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		申し送りや個別面談を通して子育てや支援に対する情報共有ができています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			現在、未就学の保護者様向けにペアレントトレーニングを実施しております。ニーズを見ながら対象者を拡大していきたいと考えています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		新規利用契約の際にご説明しています。内容についてご不明な点がありましたら、職員にお尋ねください。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントや個別支援会議、モニタリング等を通して聞き取りをおこなっています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援計画書の内容に対して必ず説明を行い、同意を得た日付と署名をいただいています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		申し送りでの情報交換だけでなく、電話連絡や個人面談もおこなっています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		定期的に家族会や親子行事をおこなっています。	ニーズやご要望に合わせて実施回数を増やしていきたいと考えています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情解決に向けてのマニュアルがあり、それらに沿って対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPやSNS、掲示写真を通して活動内容の発信をしています。行事予定は月1回、書面発行とメールにてお知らせしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		重要事項説明書に個人情報の扱いに関する記載があり、それらを遵守しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		絵カードやハンドサインなどを活用した視覚支援、ホワイトボードを活用した筆談などを取り入れています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。		○	法人での取り組みとして、「サマーフェスタ」「フリーマーケット」等を開催しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		それぞれのマニュアルを策定している。避難訓練は、地震、火災、風水害を想定して毎月実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		災害発生時と感染症対策についてのBCPが策定されています。また、机上訓練を通して定期的に周知がされています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始時の聞き取りと、アセスメント表を通じて年に1回必ず聞き取りをおこなっています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		法人内の栄養士と連携を図り、個別対応をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的に研修や訓練がおこなわれています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急時対応についてのご案内や緊急連絡先の聞き取りをおこなっています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所内だけでなく、法人全体でも共有するようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所として、月1回虐待防止、身体拘束適正化委員会を実施。また、法人内でも同様の研修があり、定期的に参加しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化に向けたマニュアルを作成しております。身体拘束が必要とされる場合は、必ず保護者様へ内容のご説明をし同意をいただいています。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ピコ		
○保護者評価実施期間	令和6年10月1日 ~ 令和6年11月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和6年10月1日 ~ 令和6年10月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○生活体験・社会体験の充実 ・季節を感じることができる自然体験（遊歩道散策 川遊び など） ・季節行事の実施（節句 お月見 節分 など） ・交通ルールを学ぶことができる ・屋外での運動遊びによる体力増進 ・収穫体験活動（夏野菜収穫 いちご狩り ミカン狩り など） ・施設見学（実施例 警察署 消防署 郵便局 清掃工場 など） ・法人内行事（運動会 発表会 夕涼み会 遠足） ・食育活動（クッキング 月1回以上）	○施設近くに自然豊かな遊歩道があり春は桜並木、秋は紅葉や木の実拾いなど季節の変化を感じることができる。 ○節句のお祝いや季節行事などを親子で楽しめるように企画実施している。 ○周辺に横断歩道、信号、歩道橋などがあり就学に向けて交通ルールを学ぶ機会になるよう設定している。 ○周辺に公園での運動遊びや遊歩道の散策などを実施し大量増進を図っている。 ○観光農園や法人内の畑、近隣の収穫体験施設などで旬の食物の収穫体験を企画・実施している。 ○交通アクセスの利便性を生かして生活に係る施設見学を多く設定している。 ○法人全体での大規模行事を設定している。 ○毎月一回季節の食材や行事食のクッキング体験を実施し食への興味関心を高められるようにしている。	○季節ごとに体験できる事象を把握し製作活動なども運動した活動になるように設定する。 ○収穫体験と調理活動を連動して行えるように年間計画を設定する。 ○実際に道路を歩くだけでなく、KY訓練等も取り入れた取り組みを行う。 ○それぞれのお子様の課題に即した運動あそびを設定する。 ○施設見学を通して自分の生活と関連付けながら学びを深めることができるようにする。 ○親子療育の充実を図っていけるよう企画・実施していく。 ○運動会や発表会などの機会を設けご家族で楽しんでいただけるようにする。 ○食育活動の内容の充実を図り食への興味を高めるとともに専門職とも連携しながら食事についてのニーズや課題にそった支援ができるようにする。
2	○専門講師による豊富な体験活動 ・太陽スポーツ・積木教室など専門講師による体験活動 ・外部講師を招いての体験活動（実施例 バプリング SDGs 活動）	○各専門講師による体験活動を実施している。 運動あそび（太陽スポーツ） 知育活動（つみき教室） など ○外部講師を招いての体験活動を企画・実施している。	○専門講師の方と連携を図り、お子様それぞれの発達段階に応じた支援が行えるようにしていく。 ○研修や資格取得を推進し職員の専門性向上を図りよりよい支援を行えるようにしていく。
3	○関係機関との連携 ・定期的な幼保連絡会の実施 ・法人内児童発達支援センターとの連携 ・医療機関やこども療育センター等との連携 ・就学先との情報交換会の実施	○定期的に併用通園している幼稚園・保育園と情報交換会を開催しお子様の状況や支援方法の情報共有を図り、連携した支援を行えるようにしている。また、ご家族や園の先生方のご希望にそって療育見学・相談も随時実施している。 ○法人内の児童発達支援センターと連携しながら必要に応じて関係機関と連携できるようにしている。 ○必要に応じて関係機関との情報交換を行い連携した支援ができるようにしている。	○定期的情報交換会だけでなく保護者や園の要望に応じて併用している幼稚園・保育園をお子様の発達状況や支援の方法について情報共有できるようにする。 ○個別支援計画の支援計画と連動できるようにしていく。 ○児童発達支援センター開催の連絡会へ参加し他事業所との情報交換等をはかっていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職（作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・歯科衛生士・発達セラピスト）との連携を強化する	○エリアごとの配置になっており各専門職と日程を調整しながら実施している。	○月1回、各専門職の訪問指導の設定している。訪問前後に利用児のニーズ、課題、状況（支援方法）等についてカンファレンスを行い指導内容に即した支援になるよう活動設定個人目標を立てるようにしていく。
2	送迎サービスのさらなる充実を図る	○単独事業所であること、立地の関係から送迎可能な時間、距離によって通園曜日、回数などを設定している。	○送迎希望についてご家族や園と相談させていただき調整できるようにしていく。 ○ご希望に沿った送迎サービスの実施ができるよう送迎コースや応援体制の見直しを行っていく。
3	個別指導のさらなる充実をはかる	○個別（1～2人）指導の活動を設定しているがさらに充実していく必要がある。	○個別指導の設定を週1回ほどになるように次年度計画で。また、専門職の訪問指導と組み合わせながらお子様のニーズ、ご家族のご意向にそった課題内容になるようにしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ピコ

公表日 令和7年 2月 25日

利用児童数 16名

回収数 13名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13					お子様の活動スペースについて、基準以上の設置を行っております。活動内容に応じて活動場所を設定させていただいております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12					職員については基準値以上の配置をしております。また、必要に応じて応援体制を整えております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13					幼児用トイレなどお子様が使いやすい設備とともに視覚支援などを用いてお子様にもわかりやすいような環境設定を工夫しております。今後もお子様の発達に合わせた環境設定を随時見直しして参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13					活動スペースについても用具の配置等を工夫し十分な広さが確保できるよう工夫してまいります。感染対策を実施しながら日常の清掃、整理整頓に心がけておりますが、お気づきの点等ございましたらお申しつけください。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13					月に1回の職員研修や外部研修等を行い専門性の向上が図れるようにしております。また、専門職の訪問指導を定期的に実施しお子様の発達特性に応じた支援を行えるようにしております。お子様の様子でできることがありましたらいつでもお申し出ください。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13					支援プログラムについてはホームページにて公表させていただいております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					アセスメントを元に専門職の意見も聞きながら作成させていただいておりますが、お子様の発達の状況に変化等があられた際には、適宜、見直しさせていただきますのでお申し付けください。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13					ガイドラインに提示のある項目について、お子様それぞれの発達状況やニーズに応じた目標を立てさせていただいておりますが、ご意向の変更等ありましたらお申し出ください。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					お子様一人一人の目標に向けて、職員一同取り組んでおります。誕生月を基準として半年に一度は見直しを行い、お子様の発達に合わせた支援に努めて参ります。ご意向の変更等ありましたらお申し出ください。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13					お子様の状況に合わせて、カリキュラム設定を行っております。また、食育活動や生活体験なども行っております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	1				本年度は同法人内にある交流スペースにおいて子育て応援イベントを実施させていただいております。保育園等との交流に関しては本年度実施できておりませんが今後検討してまいります。

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	1				契約時にご説明させていただいておりますがご質問等ありましたらお声かけください。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					契約時にご説明させていただいております。また、半期ごとの面談や担当者会議等におきまして支援内容の説明をさせていただいております。ご不明な点等ございましたらお声かけください。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1				今年度は実施されておりませんが次年度は計画を立て進めて参りますので、ぜひ、ご参加ください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13					日常の申し送り、連絡帳にて、日々の共有に取り組んでおりますが、今後もさらに、ご家族との課題共有ができるように、努めて参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13					半期に1度は保護者様と面談をさせていただいております。また、ご希望に応じて発達セラピストや専門職との相談も随時設定させていただいております。お子様の育ちについて気になることがありましたらいつでもお声掛けください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					お子様ひとりひとりの特性やご家族のご意向、お悩み等に寄り添った支援を心がけておりますが気になることがありましたらお申し出ください。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	1		1		今年度は春と秋に2回家族会を設定し実施させていただきました。次年度も定期的に実施させていただく予定です。ぜひ、ご参加ください。よろしくお願いいたします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13					ご相談については随時面談などの設定をさせていただいております。必要に応じて言語聴覚士等専門職との面談設定などを行っております。ご相談がありましたらいつでもお声かけください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					連絡帳や申し送りを通してお子様の様子などをお伝えできるように努めております。また、ご意見、ご相談についてはお電話等で直接お話を伺わせていただいております。お気づきの点がございましたらお声かけください。
非常時等の対応	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13					急ぎの共有事項に関しては現在「さくら連絡網」を使用しながら配信させていただいております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13					個人情報の管理に関しては、今後も徹底し行って参ります。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13					事業所における各マニュアルを策定させていただいております。訓練については安全防災委員会・リスクマネジメント委員会において実施をおこなっております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13					訓練については毎月1回はお子様と職員と一緒に参っております。また、年2回の消防参加訓練も実施しております。今後も様々な想定を行い、命を守る訓練を行って参ります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13					お子様の安全が担保されるよう計画されてますので、ご不明な点は職員までお尋ねください。

	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13					事故が発生した場合には保護者および関係機関に速やかに報告をさせていただいております。また、事故検証を行い再発防止策をこうじております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13					お子様たちが安心して通園を楽しみにしていただけるよう環境設定や支援方法を日々検討しながら職員一同取り組んでいます。不安に感じることはありません。職員にお声掛けください。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13				・活動内容が豊富で子供が楽しめる工夫がなされているため毎回とても楽しみにしています。	お子様一人一人が楽しみながら取り組めるようなプログラムを提供できるようにしていくともにお友達との交流を深め笑顔で過ごせるような場になるように今後も職員一同努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				・通園希望など保護者の希望に対応してくださり非常に助かっています。 ・本人の自信ややる気がアップしたように思います。	お子様の状況に応じて通園希望等をご相談しながら設定させていただいております。また、お子様ひとりひとりに合わせて活動内容にそった支援を行わせていただいております。ご家族の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。これからもお子様とご家族に寄り添った支援を続けてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				令和7年 2月 25日	
ピコ							
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容やお子様の特性に応じて活動スペースの設定をさせていただいております。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		配置基準にそって職員配置をさせていただいておりますが個別対応など柔軟に対応できるように法人内で調整しております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		お子様が自分で確認しながら取り組めるように手順表の設置など環境設定を工夫させていただいております。今後もより使いやすい空間になるように見直しを随時してまいります。	道路に隣接している施設の為、出入り口付近の安全確認を徹底しております。 また、段差のある場所がありますので特性に応じて適宜環境設定を行うようにしております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		感染対策を実施しながらお子様方が過ごしやすい機清掃、整理整頓を実施させていただいております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて個別で対応できるようにしております。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日のミーティングや月1回の職員会議等を利用して業務改善に努めております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価表でいただいた保護者様からのご意向・ご意見をもとに改善を図り、ご報告をさせていただいております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月職員会議を設定し意見交換を行っております。次年度は1on1ミーティングを定期実施してまいります。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は本年度実施いたしておりませんが今後検討しております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年2回の法人の研修、毎月の児童支援課内の研修と職員会議等で随時研修を行っております。また、必要に応じて外部の研修も参加しております。		
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し公表させていただいております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		個々のお子様に対して事前アセスメントを行いお子様、保護者それぞれのニーズや課題をとらえ作成をおこなわせていただいております。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援計画については職員会議等で内容を検討しお子様のニーズやライフプラン等を考慮して作成させていただいております。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		児童発達支援計画については職員会議等で内容を確認・検討・フィードバックを随時実施させていただいております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメント表での状況評価や日々のケース記録等を用いてお子様ひとりひとりの状況把握に努めております。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインのねらい及び支援内容を踏まえながらお子様それぞれ支援項目を設定しニーズや課題にそって具体的に支援内容を設定させていただいております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムについては計画立案、実施、フィードバックをおこなっております。		

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		生活体験や食育プログラム、お子様の課題にそって多様なプログラムを設定させていただいております。今後も楽しく取り組める内容を検討してまいります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子様のニーズや課題に応じて個別の時間と集団活動の時間を設定しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日、朝礼でミーティングを行っております。活動リーダーを中心に役割分担を行い連携した支援を行えるようにしております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼にてその日の支援の振り返りをさせていただいております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		ケース記録をして日々の記録をとっております。記載内容については職員間で朝礼・終礼等で共有し検証・改善を行えるようにしております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		誕生月を基準に半期ごとにモニタリングを実施し支援計画の見直しをしております。定期での見直しだけでなくお子様のニーズの変化に合わせ適宜設定させております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議にはお子様の支援にお子様の状況を把握している職員が参加させていただいております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて関係機関との情報交換会や担当者会議等を設定し情報共有を行い連携した支援ができるようにしております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		年2回の幼保連絡会を実施しております。併用先の園での様子やお子様の特性に応じた支援の提案等を行わせていただきながら連携した支援が行える様に努めております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		小学校情報交換会を就学先と設定し実施させていただいております。実施時期については就学先のご意向を聞きながら設定しております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員の外部研修に参加させているか。	○			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		法人内の児童発達支援センターと日頃から情報交換を行い、支援方法や事業所運営について助言をいただいております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		通園しているお子様方全員が保育所や認定こども園、幼稚園等との併用の為、日々の交流がある事から当事業所としての交流は今のところ行っておりません
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日頃のミーティングや職員会議にて共通理解を図っております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			年2回の家族会を行っておりますが、出席頂くご家族が少なく、今後も周知をしていきたいと思います。ペアレントトレーニングについては本年度は実施できておりませんが次年度以降実施できるよう検討させていただいております。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にご説明をさせていただいております。	

36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画作成前に事前アセスメントをさせていただきお子様や保護者のニーズ等を確認し課題に沿って優先すべき観点を検討させていただいております。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援内容の説明を面談にて丁寧にを行い保護者様の同意を得ております。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な面談だけでなくご家族のご要望等に応じて専門職も交えながら面談を設定し必要な助言等をさせていただいております。	
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		本年度は家族会や専門職との座談会を実施しております。次年度以降も内容を充実し実施予定です。	
40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談の申し入れがあった場合にはすぐにその場で直接もしくはお電話にて相談内容を確認させていただいております。	
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月の活動予定表やホームページでお子様の活動の様子や行事予定等をお知らせさせていただいております。	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		今後も十分に留意してまいります。	
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様の発達特性に応じてハンドジェスチャーや絵カードなどを用いて意思疎通が図れるようにしております。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	○			事業所の行事に地域の方を招待するイベントは本年度は実施できませんでしたが今後検討し開催する予定にしております。
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルにそった避難訓練や机上訓練を実施いたしております。また、施設内掲示等で確認していただけるようにしております。	
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPの策定をし毎年度見直しを行っております。また、消防立ち合い（または通報訓練）の避難訓練を年2回実施しております。	
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始時のアセスメントにて服薬や予防接種の状況について確認させていただいております。	
48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーのあるお子様については病院でのアレルギー検査結果や対応についての指示を事前に確認し栄養士と確認の上食事提供をさせていただいております。	
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全管理については研修等実施させていただいております。	
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に取り組み内容等について説明させていただいております。	
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットや事故については事業所だけでなく法人内で再発防止も含めて周知を行っております。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎月会議を行い、職員全員で虐待防止に努めてます。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		本年度は対象となるお子様はいらっしゃいませんでした。身体拘束については身体拘束適正委員会を毎月開催させていただいております。やむを得ず身体拘束を行う場合は説明を行い十分に了解を得たうえで児童発達支援計画に記載を行い、経過の確認をしながら随時見直しを行っております。	